

カリ2022 U20世界陸上競技選手権大会
日本代表選手選考要項

1. 目標

複数の金メダルの獲得を目指す。また、パリ2024オリンピック競技大会、さらにその後の国際競技会で活躍できる競技者を育成する。

2. 編成方針

メダル数を重要視し、複数の金メダルを目指す選手団を派遣することとし、U20カテゴリーにおけるトップレベルの競技者でチームを編成する。さらに、ジュニア期の育成過程に配慮し将来性を見込んだ競技者を選考することで、シニアカテゴリーの強化につなげる。

3. 開催地

カリ（コロンビア）

4. 開催期間

2022年8月1日（月）～6日（土）

5. 開催種目

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、110mH(99.1cm)、
400mH(91.4cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、
ハンマー投(6kg)、やり投(800g)、十種競技

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、100mH(83.8cm)、
400mH(76.2cm)、3000mSC、10000m競歩、4×100mリレー、4×400mリレー、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1 kg)、
ハンマー投(4kg)、やり投(600g)、七種競技

（3）混合

4×400mリレー

6. 選考競技会

(1) トラック&フィールド

- ・第106回日本陸上競技選手権大会混成競技（2022／秋田）
- ・第38回U20日本陸上競技選手権大会混成競技（2022／秋田）
- ・第106回日本陸上競技選手権大会（2022／大阪）
- ・第38回U20日本陸上競技選手権大会（2022／大阪）

(2) 競歩

- ・第61回全日本競歩輪島大会男女10kmジュニア競歩

7. 選考基準

編成方針に基づき、WAが定める本大会の参加資格を満たした競技者の中から、エントリースタンダードの枠数に則り、各種目、下記の優先順位で日本代表選手を選考する。

(1) トラック&フィールド（男女3000mを除く。）

- 1) 選考競技会に出場し、その成績と選考に関する資格記録から、本大会のメダル獲得が期待される競技者。※
- 2) 選考競技会に出場し、その成績と選考に関する資格記録から、本大会の上位入賞が期待される競技者。※
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者。ただし、選考においては、競技規格・記録・気象条件等を総合的に勘案する。
※「選考に関する資格記録」は以下 9. に示す。

(2) 男女3000m

- 1) 第38回U20日本陸上競技選手権大会に出場し、その成績と選考に関する資格記録から、本大会のメダル獲得が期待される競技者。※
- 2) 第38回U20日本陸上競技選手権大会に出場し、その成績と選考に関する資格記録から、本大会の上位入賞が期待される競技者。※
- 3) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者。ただし、選考においては、記録・気象条件等を総合的に勘案する。
※「選考に関する資格記録」は以下 9. に示す。

(3) 競歩

- 1) 第61回全日本競歩輪島大会男女10kmジュニア競歩で、記録・順位に加え、歩型違反による失格のリスクの程度も勘案し、本大会での活躍が期待される競技者。
- 2) 将来、日本代表選手として活躍が期待され、強化育成部が推薦する競技者。

(4) リレー種目

個人種目のエントリー状況を鑑みて、編成方針に準じて日本代表チームの派遣を検討する。また、派遣する場合の選考にあたっては、選考基準の成績を基に、リレーの特性を考慮して選考する。

8. 選考方法

- (1) 選考基準に則り強化育成部選考会議にて選考原案を作成し、強化委員長及び専務理事の承認を持って決定する。
- (2) 選考にあたっては、育成と普及に配慮する。

9. 選考に関する資格記録

本連盟が定める選考要項内において用いる資格記録の有効期間は、本大会参加標準記録の有効期間開始から、選考競技会当該種目終了時点まで。

10. エントリールール

- (1) 対象者は、2022年12月31日時点で16歳、17歳、18歳または19歳の2003年1月1日から2006年12月31日生まれまでの競技者。
- (2) 参加標準記録の有効期間は2021年10月1日から2022年7月18日まで。
- (3) 各種目最大2名の競技者が出場することができる。(リレーは除く)ただし、ユース競技者(2005年または2006年生)が出場できる種目数は最大で個人2種目といずれかのリレー1種目までとする。個人2種目がトラック種目である場合、200mを超えるのは1種目までとする。
- (4) いかなる記録もWA競技規則を遵守した公式の競技会で達成され、WA、そのエリア陸連、またはその加盟国陸連が主催あるいは公認する競技会で達成されなければならない。
- (5) 追い風参考記録(風速+2.0m/秒超)は認められない。
- (6) 室内記録は、エントリー記録として認められる。
- (7) 手動計時による記録は、800m以下の種目では、エントリー記録に認められない。
- (8) 競歩は、道路における記録も認められる。また、ペナルティゾーンを使用したレースの記録も認められる。
- (9) 200m以上の競走種目において、オーバーサイズ室内トラックで達成された記録は、エントリー記録に認められる。

11. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
 - (2) 代表選手は、新型コロナウイルスワクチンを接種し、開催国が求める入国条件を満たし、主催者が示すメディカルクリアランスプロトコル(Covid19プロトコル)に従う義務を有する。
 - (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
 - (4) 選考後のトレーニング状況の報告により、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を有する。
 - (5) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会及び選考基準について、専務理事の決定により、変更することができる。
- 以上